

塗料性状

項目	内容
容姿	一液性
荷姿	15kg
色相	ブルー
光沢	—
密度 (23°C)	塗料 1.00 揮発分 1.00
粘度 (23°C)	100~120KU
加熱残分	10%以下
湿潤状態保持時間	8時間 (23°C)
標準膜厚	—
引火点	SDS参照
発火点	SDS参照
爆発限界 (下限~上限)	SDS参照

上記塗料性状の数値は標準を示す物であり、若干の変動があります。

塗装基準

項目	内容	
下地処理	—	
調合法	—	
可使用時間	—	
洗浄用シンナー	水道水	
塗装法	塗装方法	刷毛・ローラー
	希釈率	無希釈
	標準使用量	0.15kg/mi/回
	標準膜厚	—
	ウエト管理膜厚	150μm (参考)
乾燥時間	温度	5°C 10°C 20°C 30°C 40°C
	最小	—
	最大	—

関連法規

危険物表示	— (非危険物)
有機溶剤区分	—
有害物表示	SDS参照
劇物表示	—

Moisture pack

湿式形塗膜飛散抑制剤 モイスチャーパック™

注意事項など

●作業中の注意

- モイスチャーパック塗布面はモイスチャーパックを塗布した面でのケレン作業は滑りやすいため注意が必要である。
- モイスチャーパックを適用した場合は、塗装前に水拭きを行う。拭き取りに使用するウエスおよび水は、こまめに新品と交換すること。

●保護具

- 呼吸器の保護具：作業を行う場合には適切な保護マスクを着用すること。
- 手の保護具：有機溶剤または化学薬品が浸透しない材料の手袋を着用する。
- 目の保護具：取扱いは保護メガネを着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具：取り扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。
- また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。
- その他：静電塗装作業を行う場合には、通電靴を着用する。

●残余廃棄物

- 廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約（マニフェスト）をして処理をする。
- 塗料製品、廃材料および焼却灰などの一部が特別管理産業廃棄物の「特定有害産業廃棄物」に該当する場合は関係する法規に準じて処理を行うこと。
- 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- 排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律に従って処理を行うか、委託をすること。

●汚染容器および包装

- 許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
- 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

●吸入した場合

- 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時には、医師に連絡すること。

●皮膚に付着した場合

- 付着物を布にて素早く拭き取る。
- 大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
- 外観に変化が見られたり、刺激痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受けること。

●目に入った場合

- 直ちに、大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- できるだけ早く医師の診察を受けること。

●飲み込んだ場合

- 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
- 嘔吐物は飲み込ませないこと。
- 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

●応急措置をするものの保護

- 適切な保護具（保護メガネ、防護マスク、手袋等）を着用する。

●保管

- 日光の直射を避ける。
- 容器はその都度密栓する。

施工上の注意

- 製品の保管は雨露、直射日光を避け、気温が50°C以上、又は0°C以下にならない場所で行って下さい。
- 使用前に均一な状態になるよう十分に攪拌して下さい。
- モイスチャーパックを塗布した面でのケレン作業は滑りやすいため注意して下さい。
- モイスチャーパックが手に付着した状態で作業を行うとケレン道具が滑りやすいため注意して下さい。
- ケレンと共にモイスチャーパックが除去され、粉塵飛散抑制効果が低下する可能性があります。粉塵飛散抑制効果が低下した場合は再度モイスチャーパックを塗り付けてケレン作業を行って下さい。
- モイスチャーパックを適用した場合は、塗装前に水拭きにより十分に清掃を行って下さい。拭き取りが不十分な場合、塗膜剥離の恐れがあります。
- 拭き取りに使用するウエスおよび水は、こまめに新品と交換して下さい。

使用上の注意

取扱いは下記の注意事項を守って下さい。
※詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご参照下さい。

●取扱い上の注意

- 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。
 - よくフタをし、一定の場所に貯蔵して下さい。
 - 子供の手の届かないところに保管して下さい。
 - 捨てる時は、産業廃棄物として処分して下さい。
 - 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。
- 緊急時の処置
- 目に入った時には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
 - 誤って飲み込んだ時には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
 - 容器からこぼれた時には、砂等を散布したのち処理して下さい。
- ④

※ 本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。
※ 本製品の内容は予告なく変更することがあります。※ 本カタログに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。

DNT 大日本塗料株式会社

構造物塗料事業部

●大阪 TEL 06-6266-3119 ●東京 TEL 03-5710-4502

湿式

水系

ケレン粉塵
飛散抑制

水基

非危険物

湿式

非危険物

飛散抑制
ケレン粉塵

DAI NIPPON TORYO CO.,LTD.

湿式形塗膜飛散抑制剤 モイスターパック™ Moisture pack

モイスターパックの利用目的

鋼構造物の塗替塗装における素地調整は、さびの発生面積に応じてディスクサンダーなどの動力工具や手工具を使ってさびや汚れを除去します。しかしながら、ディスクサンダーを使用した場合、ケレン粉塵が発生し、浮遊、飛散するリスクが高まり、ケレン作業が可能な場所や時間が制約されてしまいます。また昔のさび止め塗料には、鉛やクロムなどの有害重金属が含まれており、近年、塗装改修工事にて鉛中毒が発生しました。

素地調整時の粉塵の発生を抑制し、湿潤工法による素地調整が求められる中、湿式形塗膜飛散抑制剤「モイスターパック」が開発されました。

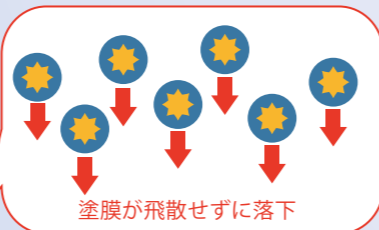
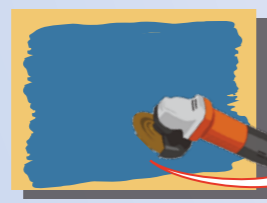
モイスターパックの効果① 素地調整時の塗膜粉塵飛散抑制効果

塗膜湿潤剤により、動力工具処理においても粉塵飛散を抑制することが可能！ 塗膜種類に依らず適用いただけます。

入念に素地調整が必要で特に粉塵が発生しやすい塗膜箇所にも効果的です



モイスターパック塗布の様子



本材料は、「飛散抑制」であり、飛散を「ゼロ」にする訳ではありません。

モイスターパックの効果② 素地調整の施工性向上効果

塗膜を軟化膨潤させずに塗膜除去作業が可能となし、モイスターパックを塗布した後の膨潤させる時間が不要であり、待機時間が短く、施工性の向上が図れます。

モイスターパックの効果④ 水性タイプによる安全性の効果

水性タイプのため、引火性・臭気がありません。安心して作業ができ、周辺環境への影響の低減が期待されます。

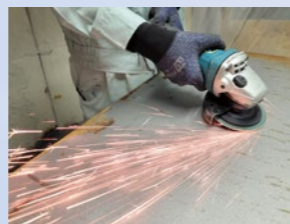
モイスターパックの効果③ 湿潤性維持効果

約23℃で8時間湿潤性を維持し、湿潤化による効果的な素地調整が可能です。

直火でも引火しません。

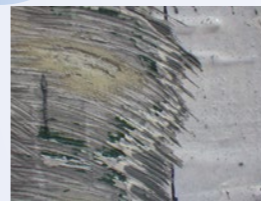


火花が散っているところでも使用できます。



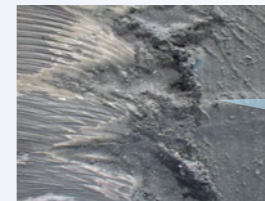
ケレン粉塵抑制効果

通常のケレン状況



ケレン粉塵が発生し、浮遊、飛散のリスクが高まる

モイスターパック塗布後のケレン状況



モイスターパックが粉塵を巻き込み絡める



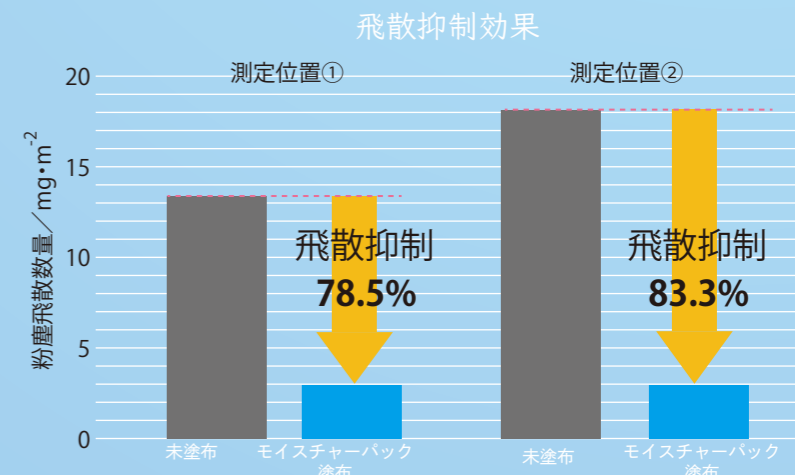
粉じんはスライム状になる



粉じんは重くなって飛散しにくい

ケレン粉塵抑制効果の評価

モイスターパックの素地調整時に発生するケレン粉塵の抑制効果について評価しました。



ケレン粉塵を約80%以上抑制可能!!

品質規格

項目	内容	規格
容器の中での状態	適合	鋼道路橋防食便覧付II-3に準じる。かき混ぜた時、中身全体が容易に一樣になる。
塗布量	適合	垂直面に本剤を150g/m ² 塗布し流れ落ちることがない。
耐フラッシュさび	適合	試験方法はJIS K 5674:2019 7.8に準じる。150g/m ² 塗布後、標準状態で8時間放置し、目視により観察した結果、フラッシュさびがない。
塗り替え塗膜の付着性	適合	鋼道路橋防食便覧付II-3に準じる。本品塗布後、水拭きした後にクロスカット法(2mm間隔)により付着試験を実施した結果、分類1又は分類0。

使用方法

ローラー・はけに適度に馴染ませ、塗膜に塗布する。塗布後、動力工具などで素地調整を行う。

詳しい使用方は動画をご覧ください。「モイスターパックの使い方」

ご利用・閲覧などには別途通信料がかかります。通信料はお客さまの負担となりますので、通信料定額などのサービスをご利用されていない場合は、ご注意ください。



モイスターパック適用後の処理

モイスターパックを適用した場合は、塗装前に必ず水拭きを行ってください。モイスターパックが残存している場合は、塗り替え塗膜のはく離の可能性があります。